PULL-APART BASINSの諸問題

加藤碩一・シンポジウム世話人会

履行配列する横ずれ断層のセグメント間に発達する狭義のpull-apart basinやトランスフォーム断層と同様にトランスフォーム断層の横ずれ断層運動に起因する堆積盆地形成についての興味と関心が近年世界的に著しく高まってき、1989年にワシントンで開催された第28回万国地質学会において数多くのセッションでそれが触れられたことは記憶に新しく、第29回万国地質学会においても当初プログラムにはあえて独立したセッションとしてあげられていなかったものが（従ってfirst circularにはのっていない）追加されたほどです。

しかし、我が国においては従来断片的な報告や個々的な興味の範囲に留まり、シンポジウム等で議論したり、研究雑誌で総括的なレビューがなされたりしたことはなく、そのイメージについても各人の各様でした。そこで、構造地質研究会では、世話人会（加藤・天野・尾崎・宮田・卯田・木村）を中心に横ずれ断層運動に起因する堆積盆地にその代表例であるpull-apart basinの総合的な理解をめざして以下のような企画を試みました。

1989年の夏の構造地質研究会例会（8月24〜26日、長野県諏訪市・信州大学理学部附属臨済実験所）では、pull-apart basin及び横ずれ断層運動やそれに伴う堆積過程について勉強会・シンポジウム講演を通じて理解を深めました。

主なプログラムはつぎの通りです。

・勉強会～pull-apart basinの諸問題
  基調講演（目的・定義・歴史等）
  The Death Valley pull-apart basin
  トルコにおけるプル・アパート・ベイシン
  pull-apart basinの幾何学的特性と形成機構及び形成過程
  ·シンポジウム講演
    strike slip olistromal basin～のeastward polarity
    秩父“付加コンプレックス”
    transpressionによる西スピッツベルゲン造山帯の形成
    pull-apart basinの形成過程と幾何学的特性
    －成長の自己アフィン性について－
    strike-slip faultに伴うbasinの形成とその堆積様式

･･･1･･･
九州北部にみられる中新世後期—鮮新世の東西方向の右横ずれ断層群と地溝状構造
山中地溝帯南境界断層における横ずれ断層運動
さらに、同年冬の構造地球研究会例会（12月22日—23日、東京・東京大学学士会館）で、「統pull-apart basinの諸問題」のシンポ・勉強会を行いpull-apart basinのみならず、それを含んでより広くstrike-slip basinについても広く議論を重ねました。
主なプログラムはつきの通りです。
・勉強会 — strike-slip basinの諸問題
  strike-slip basinの概要と諸問題 加藤隆一（地質調査所）
  地形からみた strike-slip basin 吉岡敏和（地質調査所）
  断層からみた strike-slip basin 宮田隆夫（神戸大学）
・シンポジウム講演
  鉱脈鉱床における pull-apart structure — 西南北海道の例— 渡辺 寧（地質調査所）
  嵐岡構造帯の中新世右横ずれ運動と strike-slip basinの形成 藤井実徽（東北大学）
  サンアンドレアス断層東端の pull-apart堆積盆地群
    —ソルトトンシーとカリフォルニア湾— 伊藤谷生（東京大学）
  近畿地方北部の山間盆地と横ずれ断層 吉岡敏和（地質調査所）
「別府 — 鳥原地溝」の形成機構について
    —pull-apart basinの可能性— 木戸道男（大川高校）
九州中軸帯の白亜紀堆積盆地の発達過程とアジア東縁部での
  カリフォルニア縦断型プレート境界 坂井 卓（九州大学）
  和泉横ずれ堆積盆地の堆積・変形様式 宮田隆夫（神戸大学）
  堆積物からみた strike-slip basin 天野一男（茨城大学）
  棚倉破砕帯—pull-apart basinの可能性
飛騨変成帯の九頭竜岩体のduplex
  飛騨変成帯のflower structure 寺田 強・保坂 光・小林公一（新潟大学）
  日高変成帯の変形構造とduplex 新井高志（新潟大学）・志村俊昭（北海道大学）
  黒瀬川構造帯における地層群の重複 永田高弘（東北大学）
  横ずれ地帯としての山中地溝帯 久田健一郎・田村百代（筑波大学）

本特集は、以上の発表や議論を踏まえて、横ずれ断層運動に伴う pull-apart basin やあるいはstrike-slip basinにおける堆積・造構・変形作用について総括的なレビューを行って共通の認識を得、問題点の検討の基礎を与えるとするものです。